

かねさわ

金沢学区コミュニティ推進会

第157号

令和6年1月20日

企画・編集：広報部 発行責任者：泉 聡二
事務局：Tel(36)3985 Fax(36)2677
メールアドレス：c-kanesa@net1.jway.ne.jp
ホームページ：https://c-kanesa.org/



「生活安全のつどい」にて

慶春

本年もよろしくお願ひ致します
令和6年元旦

金沢学区コミュニティ推進会

令和6年を迎えるにあたって

金沢学区コミュニティ推進会会長 泉 聡二



新年あけましておめでとうございます。令和6年の新春を迎え、金沢学区コミュニティ推進会の皆様のご繁栄を心からお慶び申し上げます。また、あわせて日頃の活動に対し、ご理解とご支援・ご協力に深く感謝申し上げます。

金沢学区コミュニティ推進会では、「自分の地域は自分の創意と努力でつくりあげる」という基本理念を住民の皆様と共有できるよう、広報紙など様々な媒体をとおして情報発信していきたいと考えております。また、金沢学区を取り巻く環境が大きく変化している中で、一人暮らしの高齢者の見守り、いつ起こるかかわからない災害への対応など、地域における課題が年々高度化・複雑化しており、金沢学区においても例外ではありません。行政と連携しながら、様々な地域課題の解決、そして持続可能なコミュニティ活動の実現に向けた取り組みを進め、住みよい

まちづくりを推進してまいります。

さて、4月13日(土)には第50回目の記念総会とイベントを予定しており、多くの皆さんの参加をお願いいたします。

最後に、皆様とご家族のご隆昌とご健勝を祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

令和6年新春賀詞交歓会 開催

年が明けた1月6日(土)に、金沢学区「新春賀詞交歓会」が開催されました。泉会長の新年の挨拶のあと、ご来賓の皆様にご祝辞をいただき、新年を祝いました。新型コロナウイルス感染症やインフルエンザが流行しており、控え目の賀詞交歓となりましたが、令和6年の活動の決意を新たにしました。



勉強になりました！「移動学習講座」

9月14日(木)、筑波実験植物園と筑波宇宙センターを見学する移動学習講座を実施しました。参加者は30名でした。

筑波実験植物園では、4つの大きな温室を中心に珍しい熱帯植物や水生植物などを見て回り、植物学者の牧野富太郎博士の気分を味わいました。

午後からは、筑波宇宙センターへ移動しました。宇宙飛行士養成エリアと「きぼう日本実験棟」の運用管制室を見学しました。宇宙服や閉鎖環境適応訓練施設などの「実物」を見たり、リアルタイムで宇宙とつながり、宇宙飛行士の実験を支援する現場の緊張感に触れたりして、貴重な体験をすることができました。

限られた時間で駆け足の見学でしたが、昼食時や車中で参加者同士の交流も図られ、楽しく有意義な講座となりました。

(ふるさと創生塾)



記念撮影



宇宙工学を学びました



実験植物園を散策

お疲れ様でした 「環境の日」・「一斉清掃」

【環境の日】

10月8日(日)午前8時から、自宅の周辺・生活道路・公園・空き地・河川沿いの清掃が行われました。参加状況は、1,064名(令和5年9月現在世帯数2,393戸)で、昨年に比べ参加率は8.2%増となりました。これも地域の皆様の積極的な取り組みと各支部役員さんのご尽力によるものと、感謝申し上げます。本年度もごみの回収や草刈等の地域環境整備を無事終えることができました。改めてお礼申し上げます。金沢コミュニティ推進会では、快適な地域環境の維持が、地域の安全につながる大切な活動ととらえています。今後とも皆様のご理解とご協力をお願い致します。

【金沢交流センター秋季一斉清掃】

10月15日(日)、金沢交流センターの一斉清掃を実施しました。金沢コミュニティ推進会(21名)および

利用団体(29名)計50名の参加で、館内を重点的に清掃しました。皆様には隅々まで丁寧に磨きあげていただきました。脚立などを使った高所の作業では十分に安全に配慮した対策を講じていただき、無事終わることができました。感謝申し上げます。



隅々まできれいに



大収穫!



注意して作業します

ふれあいボウリング大会

10月15日(日) K-1 ボウルで、「ふれあいボウリング大会」を行いました。今回は直前に新型コロナウイルス感染症によるキャンセルが出て、16名の参加となりました。谷川副会長の指導のもと、しっかりと準備運動をしてから、長山さん(小学3年)の始球式で始まり、2ゲームの合計で競いました。今回は練習時間を長くとれたため、ストライク・スペアを獲得する方が多く、拍手と歓声が度々あがっていました。当日はあいにく雨の日でしたが、楽しくボウリングをすることができました。最後に集合写真を

撮り、表彰式をして終了しました。

(レクリエーション部)



いい汗をかきました

金沢小3年生と昔遊びで交流しました

11月17日(金)に、ふれあいボランティア活動部が計画した「金沢小学校3年生とのふれあい交流会」を実施しました。3年生39名とボランティアふれあい活動部の19名が参加しました。3年生の「つばめダンス」で迎えられました。高村事務長からは、本日のビッグニュース“MLBでMVPを取った大谷翔平選手”の話がありました。集合写真を撮った後、グループに別れてベーゴマ・コマ回し・メンコ・輪投げ・羽子板などの昔遊びをし、楽しくおしゃべりもしました。最後に代表の児童からお礼の言葉をいただきました。金沢交流センターからは、関本さんが制作した竹とんぼをプレゼントしました。

(ボランティアふれあい活動部)



あいさつ・声かけ運動

11月の毎週火曜日と木曜日に、金沢小学校正門(火曜日)および台原中学校登校門(木曜日)で、“あいさつ・声かけ運動”を行いました。民生委員・児童委員の皆様や自警団の皆様の協力を得ながら、校長先生・教頭先生、また児童・生徒にも協力していただき、「元気に明るいあいさつ」を行うことができました。

子どもたちは先生方や上級生の顔を見ると、にこやかに明るい元気な声であいさつをしていました。私たちも負けず、明るい声であいさつをしました。一日は朝のあいさつから始まります。普段から大人・子ども関係なく地域の皆さん同士が、あいさつ声かけができるようになれば、コミュニケーションの輪も広がると考えています。

協力していただいた皆様、ありがとうございました。

(青少年育成部)



第41回 住民文化祭 力作ぞろいの作品を鑑賞、催事コーナーで買い物

地域の皆様のご支援とご協力のもと、第41回住民文化祭が金沢交流センター全館で開催されました。「住民相互の絆を深めれば、ホッとする・楽しい・希望が湧く」をモットーに親睦を深める1日間で、多くの来場者(443名)でにぎわいました。感染症予防として、来場された方々にはマスクの着用をお願いし、催事はキッチンカーを主として開催しました。出展作品の前で、お互いの作品への思いを語り合い、談笑されている姿を見て、明るく住みやすい地域づくりを目指した文化祭になりました。

子どもたち向けの「チャレンジコーナー」や「駄菓子屋さん」、8団体による「フリーマーケットコーナー」も大盛況でした。「健康測定会」では行列ができ、健康への関心の高さを実感しました。

参加出展者は、個人・一般団体・教育団体・学区内外施設から6グループ(285名)、作品数321点を出展いただきました。盛大に住民文化祭を開催できました。



正面玄関



受付



花苗の配布

出展作品の各賞は以下の通りです。(敬称略)

金沢学区コミュニティ推進会長賞

「楽しい木」(絵画): 金沢小学校3年 棚井莉愛奈

「私の大切なくつ」(絵画): 金沢小学校6年 鬼澤颯菜

文化祭実行委員会委員長賞

「故郷の今」(写真): 嘉成 勉

「木の実と動物と恐竜たち」(置物): 新開良明

5作品(置物): かねはた

「吊るし飾り」(手芸): 生方れい子

多目的ホール展示コーナー



多目的ホールでは、個人・団体の皆様から、絵画・絵手紙・色鉛筆画・写真・手芸・彫刻・工芸など1年間のご苦労と楽しみの詰まった作品が展示されました。

和室展示コーナー



和室では、台原中学校生徒・金沢小学校児童・まゆみの里保育園児、はなやま認定こども園児、そして学区内の高齢者福祉施設の方々から多数の作品が展示されました。

催事コーナー



チャレンジコーナー

駄菓子屋コーナー

新鮮な野菜の販売

キッチンカー

フリーマーケット

キッチンカー

健康測定

「生活安全のつどい」開催！

10月22日(日)秋晴れのもと、令和5年度「生活安全のつどい」が開催されました。参加人数は197名でした。今回は4年ぶりに防災訓練が実施されました。

「午前8時40分に山側道路西側の山林で不審火が発生し、強風にあおられ旭ヶ丘団地・台原団地・金沢団地に延焼する恐れがある」との想定でした。

8時50分の防災行政無線の放送により、避難訓練を開始しました。支部ごとに一時避難所に集合し、各支部長が市指定避難場所である金沢小学校グラウンドに誘導しました。

各支部長は泉本部長に避難人数・被害箇所・災害時要援護者の確認等を報告しました。泉本部長は、多賀消防署消防指令 千葉様に総数を報告し、報告訓練を終了しました。

次に、「生活安全のつどい」開会式では、泉本部長、高村実行委員長、日立市議会議員 石川かおり様にあいさつをいただきました。防災訓練では、煙体験・消火器取り扱い・バケツリレーの3つのブースが設けられました。各ブースとも多賀消防署員の丁寧な指導・助言を受けながら、熱心に体験・訓練に取り組むことができました。

親子で消火器を取り扱う姿やバケツリレーでの緊張しながらも人とのつながりの大切さを実感する姿等が見られました。

閉会式では、多賀消防署消防指令 千葉様と日立市防災対策課課長補佐 黒澤様から講評をいただき、終了しました。この訓練で、自助・共助の意味を身をもって再確認し、常に災害に備える準備と心構えを共有することができました。さらに、パトロール中の多賀駅前交番署員から特殊詐欺被害予防の講話を聞きました。

参加者全員が危機意識を高める場となりました。

(生活安全部)



避難訓練



報告訓練



開会式



バケツリレー



消火器取り扱い



煙体験



講評

「第21回(コミ推)グラウンドゴルフ大会」開催

10月28日(土)、金沢小学校グラウンドで、「第21回(コミ推)グラウンドゴルフ大会」を開催しました。

当日は71名の参加があり、今回より24ホールへ増やして競技を行いました。ホールインワンで喜ぶ人、思うようにいかず首をかしげる人などなど、和気あいあいと楽しくプレーすることができました。3ラウンド終了間際になって急に雲行きが怪しくなり、雷鳴が轟き始めました。駆け足で閉会式と成績発表を行い、雨が降りだす前に終了することができました。

(レクリエーション部)



優勝を目指して！

しっかり観察できました「スターウォッチング」

11月4日(土)は、午後から曇り空になり、星座観察ができないのではと心配しました。「星座」についての説明を聞いている間に、子どもたちの願いが叶い、観察時には雲がなくなり「星座観察」ができるようになりました。

シビックセンター・ボランティアの方々の支援のもと、大型天体望遠鏡5台を使って“土星”“木星”“アンドロメダ座”“リング星雲”等いろいろな星座を観察することができました。子どもたちと一緒に参加された保護者の方も初めて見る“アンドロメダ座”“リング星雲”に感激していました。

今回は、小学生44名、保護者33名、スタッフ12名、合計89名の参加者があり、過去にない大人数の観

会となりました。スターウォッチングの関心は高く、開催してよかったとスタッフ一同安堵しました。

(青少年育成部)



くっきり見えるよう合せます



何座かな？

ベストコンディションのなか「第6回親睦ゴルフ大会」開催！

11月10日(金)に第6回親睦ゴルフ大会が、高鈴ゴルフクラブで開催されました。心配された雨は強くならず、プレーすることができました。

老若男女がハンディ戦でレギュラーティー、シルバーティー、レディースティーでそれぞれにスタートしました。ルールはグリーン上のOKボール無しの厳しいルールで、以下の結果になりました。日頃の成果を発揮された那須川まり子さんが優勝とベストグロスを獲得しました。

【結果】(敬称略)

優勝	那須川 まり子	42	44	86	13.2	72.8
準優勝	弘 中 久美子	48	49	97	22.8	74.2
第3位	雨 宮 俊 郎	41	46	87	12.0	75.0

(総務部)



スタート前の記念写真



優勝した那須川まり子さん

日立再発見ウォーク 魅力ある金沢学区

11月15日(水)に金沢学区の日立再発見ウォークを開催しました。参加者は30名でした。

巡廻コースは「金沢交流センター→覚念寺→伊勢神社→山側道路(金沢～台原)→大山祇神社→金沢交流センター」でした。神社や寺院の歴史的な解説を聞きながら、覚念寺では聖徳太子堂を見学し、大山祇神社では荘厳な雰囲気を感じました。自然と歴史が共存する美しい場所で、心が癒されました。

山側道路で太平洋を一望できる素晴らしい景色を満喫し、金沢の魅力を存分に味わうことができたのではないのでしょうか。

参加者の方々からは、「金沢学区の歴史に触れられ満足です。」「地域の文化を感じられる素晴らしい機会でした。」「こんなすてきな歴史ある神社である

と知り驚きました。」などの感想が寄せられました。金沢学区の魅力を発見できたようで、喜びとたくさんの感謝をいただいた一日でした。(文化部)



午前の部に参加された皆さん



午後の部に参加された皆さん



歴史と文化に触れました

ミニ門松手作り教室

12月17日(日)に、生涯学習かねさわ第5回講座「ミニ門松づくり教室」を開催しました。講師は、金沢学区にお住まいで門松づくりに精通している佐久間幹雄 様にお願ひしました。

19名の受講生を4人一組のテーブルに配置しました。製作が進むと次第に和気あいあいとした雰囲気になってきました。講師とスタッフの適切な指導のもと、飾り付ける段階になると歓声が上がりました。

満足のいく仕上がりに表情もゆるみ、講座は好評のうちに終了することができました。

(ふるさと創生塾)



開講式



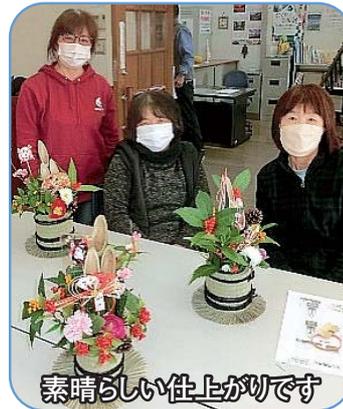
制作手順の説明



心をこめて



ていねいに



素晴らしい仕上がります



良い年が迎えられます

随筆

自然災害と神だのみ

令和5年9月27日に日立で線状降水帯が発生し、初めて地球温暖化の直接の影響を感じさせられました。すぐに頭をかすめたのは7月8日の出雲地方に線状降水帯が発生し、37万人に避難指示が出たことでした。5年位前に出雲市を訪ねた時、「出雲大社に守られた出雲市は、自然災害が少ない場所です。」と紹介されたので、ニュースを見てビックリしたものでした。

日立市では大雨による大きな災害がなかったわけですが、今回の線状降水帯による大雨は、若いときに九州で経験したバケツをひっくり返したような大雨が、とうとう日立にもやってきた。まさに目の前まで温暖化の影響が迫ってきていると感じさせられ

ました。このような自然災害は、ある日突然やってきます。偏西風の蛇行の影響で、被害の程度が変わってきます。また、900hPa以下の強烈な台風の発生が予測される時代です。

いろいろな自然災害に対応した具体的な取り組みを計画していく必要を感じるこの頃です。

令和6年はできる限りの対応を準備して、神様に災害の少ない年であるように祈るばかりです。



(事務局長 高村 哲夫)

編集後記 「多文化共生」

多文化共生とは、「国籍や民族などが異なる人々が、互いの文化的な違いを認め尊重し、対等な関係を築こうとしながら、地域社会構成員として共に生きていくこと」と定義されています。少子高齢化の顕著な我が国には、外国人を受け入れ、手助けしてもらうことは将来不可欠なことと思います。

しかし、課題としては、「ことばの壁」・「受け入れ体制」・「安全に対する懸念(外国人による組織犯罪)」等があります。

早急に一つ一つ丁寧に解決していくことが肝心です。

(濱田 衛)

